

決議案第 1 号

新型コロナウイルス感染症に係るすべての差別や偏見等の根絶に関する決議案

上記の決議案を提出する。

令和 3 年(2021 年)12 月 20 日

提出者	安澤勝
賛成者	長崎任男
賛成者	矢吹安子
賛成者	上杉正敏

新型コロナウイルス感染症に係るすべての差別や偏見等の根絶に関する決議

新型コロナウイルス感染症(以下、「同感染症」という。)に関する差別や偏見などを踏まえ、彦根市では、令和 2 年 12 月に新型コロナウイルス感染症に関する「彦根市民人権宣言」を行った。しかし、新たにワクチンの接種・非接種に拠る人権問題も顕著化している。

彦根市は、昭和 61 年に人権尊重都市宣言を行い、平成 10 年には「人権が尊重されるまち彦根をつくる条例」を制定した人権尊重都市であり、同条例の目的である「あらゆる差別をなくし、市民一人ひとりの参加によって人権が尊重され、住みたい住み続けたいと感じられるまちの実現を図る」ために、私たちは、同感染症に関する様々な人権の問題に継続して取り組まなければならない。

よって、本市議会は、住みやすいまち彦根の実現に向けて、同感染症に係るすべての差別や偏見、誹謗中傷等の根絶を目指し、以下の事項について決議する。

- 1 新型コロナウイルス感染症の感染者およびその家族に対する不当な差別・偏見・誹謗中傷を許さない。
- 2 医療や介護、保育などの現場で社会を支えている人たちとその家族に対して敬意を払い、不当な差別・偏見・誹謗中傷を許さない。
- 3 ワクチン接種・非接種に拠る不当な差別・偏見・誹謗中傷を許さない。

4 新型コロナウイルス感染症に関する正しい理解を広げ、市民一丸となって人権侵害の防止に努める。

令和3年12月20日

彦根市議会